

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

絶滅危惧種の育成保存

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

1. 藤袴、桔梗、おみなえしの野生種を栽培している人より種苗穂の提供をうける。
2. プランターにて種や差し穂株分けを行い、会員各位で分散育苗を行う

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- 1 藤袴、桔梗、おみなえしの野生種を栽培している人より種苗穂の提供をうける。
- 2 プランターにて種や差し穂株分けを行い、会員各位で分散育苗を行う
- 3 苗の育成を見ながら、小仏城山へ移植する。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

群生地創設場所の奥高尾小仏城山山頂は年間数十万人が訪れここに群生地を置くことは最上級の適地と判断しました。

当初この企画を考案してから、種子の確保となり、野生種で近隣から確保できたことは当会の会員の力が有効に働いたものです。

自然を尊重するため、単一種の蜜植をさけランダムに植え付けを行った。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

対象植物は多年生で有りまして、加温して発芽を早め、雑草に負けないよう 大きな苗にしたが、会員各位に分散したため、生育の不ぞろいや配布と集荷に難ありで、藤袴、おみなえし桔梗で約 1000 本強の移植に5回を費やした。また生育が遅いものは、2年苗として次年に繰り越した。

本年も前年同様で苗を育成中です、大苗を含め本年は 2000 本を目指します。

多年生の草木の群生地を創設するのは3年が必要と思われるので、継続活動を行います。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

植え付けの状況



理事長自率先垂範

